

【 雑草防止工法 NETIS が VE 評価になりました 】

早速ですが国土交通省の、NETIS 技術名称：「雑草防止工法」KT-160069-VR がめでたく VE 評価になりました。5 年間という長い期間で 9 件の現場で使用した評価結果です。VE 評価になった事により、主に次の様なメリットが有ります。

- ① 現在も NETIS には掲載中ですが、さらに今後 5 年間、2026 年まで継続して掲載されます。
- ② 「次回以降の評価に対する視点と評価の必要性の項目」で、「評価結果は安定している。また、従来技術も妥当と判断できるため継続調査は実施しない。よって、次回以降の評価は不要とする」となって居ます。従って、国土交通省の工事において、今後、性能調査等が必要無くなりました。当然、県、市町村においても同様の判断をされる事になります。
- ③ 2020 年から国土交通省直轄工事で、必ず採用しなければならない事が決まっていますが、その NETIS 技術の対象となります。現在、歩車道境界ブロック・側溝・暗渠型側溝等での道路における「雑草抑制技術」の対象となる NETIS 技術は、雑草防止工法のみです。なお、詳しくは下記の手順で WEB より確認ください。 【WEB での確認方法】



- (1) NETIS ⇒NETIS 新技術情報提供システム-NETIS-をクリック。
- (2) 検索キーワードに「雑草防止工法」と入れ、この条件で検索するをクリック。
- (3) 2. 雑草防止工法 (KT-160069-VE) を開く。⇒活用効果評価を開く。

活用効果評価の所見として、下記の通り、経済性、工程、安全性、環境について、従来技術に対して優れているという嬉しい結果になっています。

赤線が今回の評価です。

〔経済性〕・本技術の経済性については、施工後の維持管理費の減少が見込まれるため、従来技術に対して優れる。

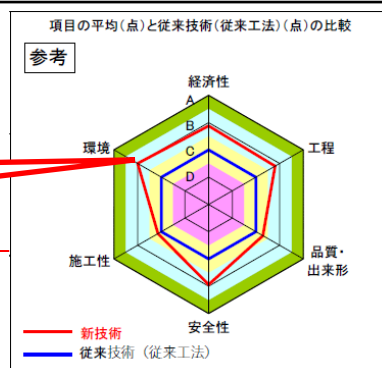
〔工程〕本技術の工程については、維持管理に関わる日数が減少すると見込まれるため、従来技術に対して優れる。

〔品質・出来形〕・本技術の品質・出来形については、従来技術と同等である。

〔安全性〕本技術の安全性については、除草作業の不要及び雑草の繁茂の抑制により、歩行者等の通行時の安全性の向上が見込まれるため、従来技術に対して優れる。

〔施工性〕本技術の施工性については、従来技術と同等である。

〔環境〕本技術の環境については、雑草の繁茂の抑制による景観の向上が見込まれるため、従来技術に対して優れる。



あす

独創技術で PC の未来を創る **IMPACT**

インパクト通信はご契約者様にはどなたでも

送信致しますので **アドレス** をお知らせください。また送信不要な方についてはいつでも停止致します。

HP : <http://www.impact-inc.jp> or 「インパクト 岡本治郎」